

参考資料

## 2018年度中間期 業績の概要

---

2018年11月12日  
ソニー銀行株式会社

# 損益の状況(1):財務会計ベース

## <連結・単体>

金額は億円未満切捨て、%は四捨五入で表示  
(億円)

### <連結>

- **業務粗利益**  
前年同期比15億円増加の136億円。
- **経常利益**  
同9億円増加の46億円。
- **親会社株主に帰属する中間純利益**  
同6億円増加の30億円。

### <単体>

- **業務粗利益**  
同12億円増加の118億円。  
有価証券利息の増加や、住宅ローン残高の積み上がりにもなう貸出金利息の増加により資金運用収支が拡大し、増加。
- **経常利益**  
同8億円増加の42億円。  
業務粗利益が増加したことにより、増益。
- **中間純利益**  
同6億円増加の29億円。

	<6ヶ月累計>	2017年度 上期	2018年度 上期	前年同期比	
連結	業務粗利益	121	136	+15	+12.6%
	経常利益	37	46	+9	+25.7%
	親会社株主に帰属する 中間純利益	24	30	+6	+27.7%
単体	業務粗利益	105	118	+12	+11.6%
	資金運用収支	101	114	+13	+13.0%
	役員取引等収支	△15	△16	△0	—
	その他業務収支	20	20	△0	△1.4%
	営業経費	76	76	△0	△0.2%
	業務純益	29	41	+11	+40.2%
	経常利益	34	42	+8	+23.9%
	中間純利益	23	29	+6	+26.6%

## 損益の状況(2): 社内管理ベース

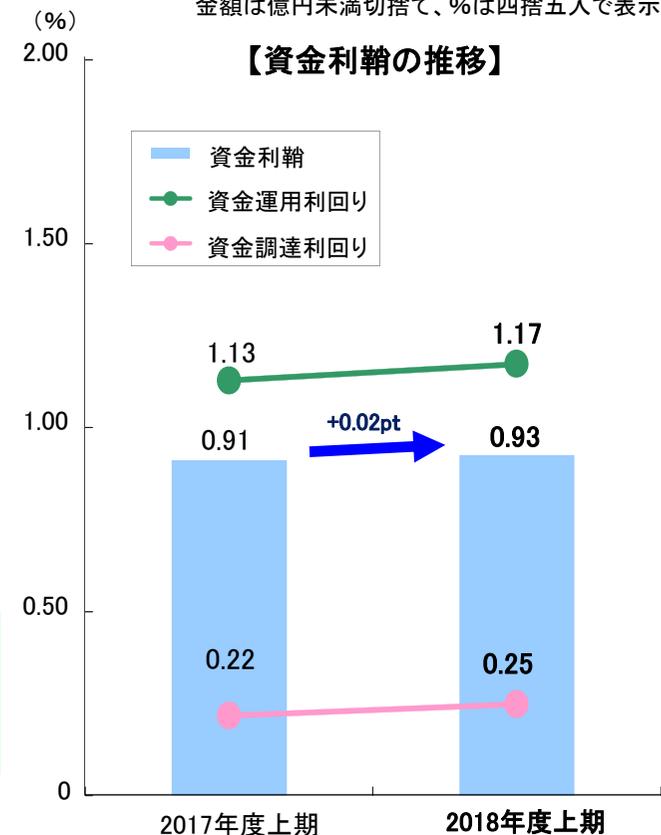
< 単体 >

- コアベース業務粗利益は、前年同期比11億円増加の112億円。  
資金収支は、米国の金利上昇にともない外貨建ての有価証券利息が増加したことなどから、拡大。
- 資金利鞘は、外貨運用に係る利回り上昇もあり、0.02pt上昇の0.93%と、一定の水準を維持。

(億円)

<6ヶ月累計>	2017年度 上期	2018年度 上期	前年同期比	
業務粗利益	105	118	+12	+11.6%
資金収支*1①	113	125	+12	+11.3%
手数料等収支*2②	△13	△13	△0	—
その他収支*3	5	6	+0	+5.5%
コアベース業務粗利益(A) =①+②	100	112	+11	+12.0%
営業経費等③	76	77	+0	+0.6%
コアベース業務純益 =(A)−③	23	34	+11	+49.4%

金額は億円未満切捨て、%は四捨五入で表示



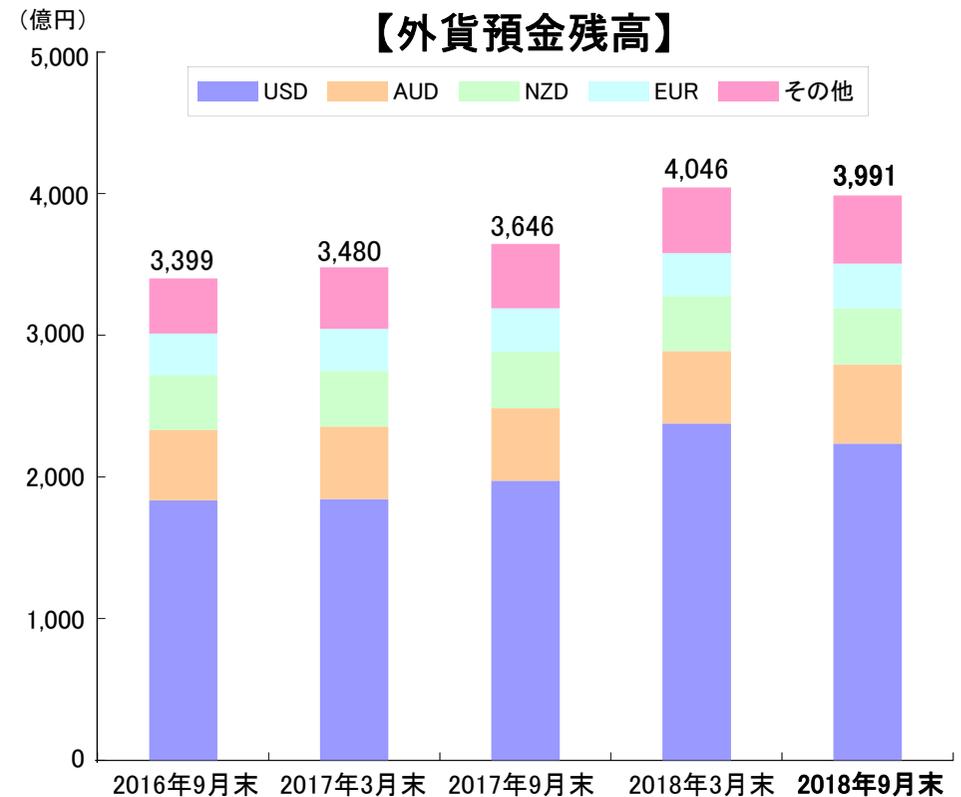
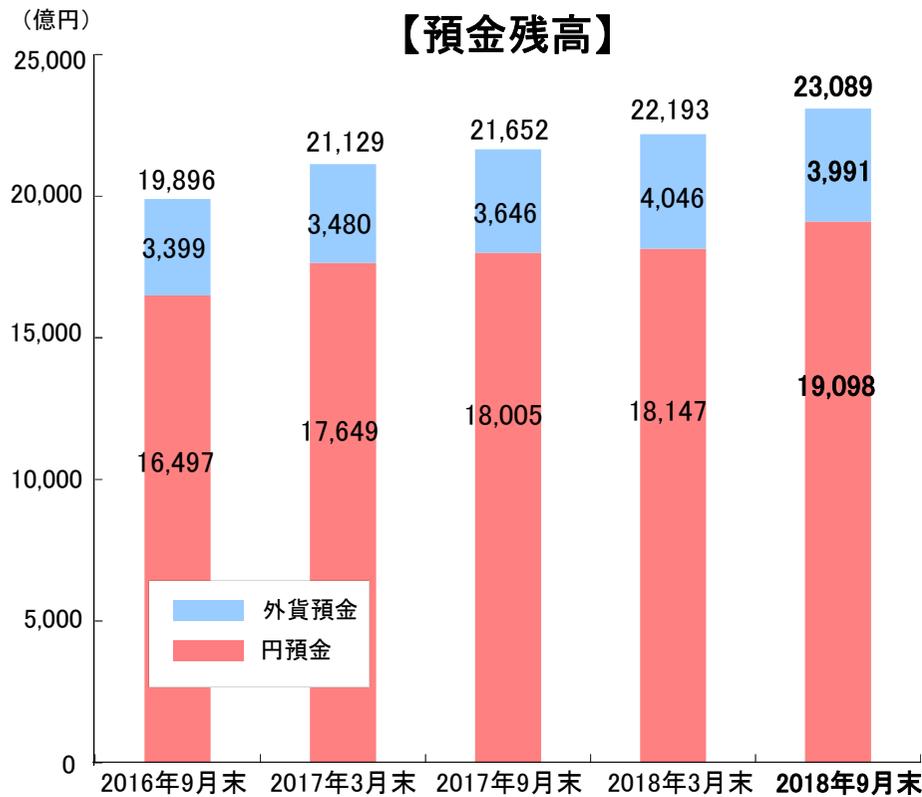
- 社内管理ベース 損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの
  - \*1 資金収支…資金運用収支+その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)
  - \*2 手数料等収支…役務取引等収支+その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益
  - \*3 その他収支…その他業務収支より\*1と\*2の調整分を控除したもの。主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益
- コアベース 社内管理ベースのその他収支(主に債券関係損益およびデリバティブ関連損益)を除いたもので、当社の基礎的な収益を表すもの

# 預金の状況

<単体>

- 預金残高は、前年度末比896億円増加の2兆3,089億円。  
円預金残高は、口座数増加にともなう新規資金の獲得や、円安進行の影響を受け外貨預金の円転が進み、普通預金を中心に増加。外貨預金残高は、定期預金が増加したものの、円安進行により米ドル預金を中心に円転が進み減少。

金額は億円未満切捨てで表示

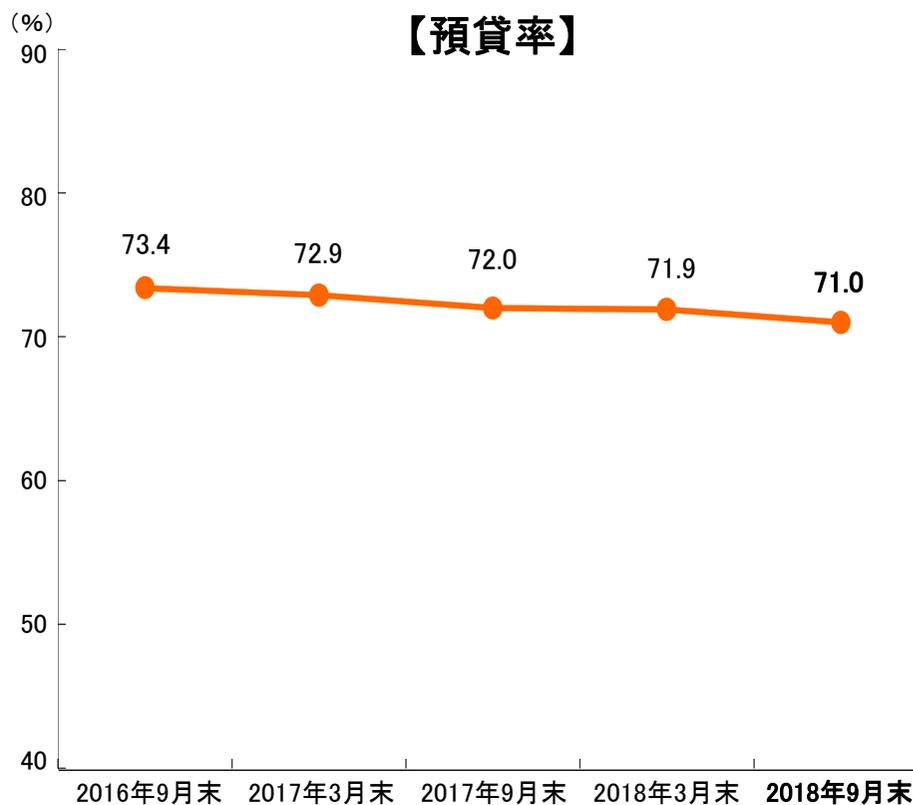
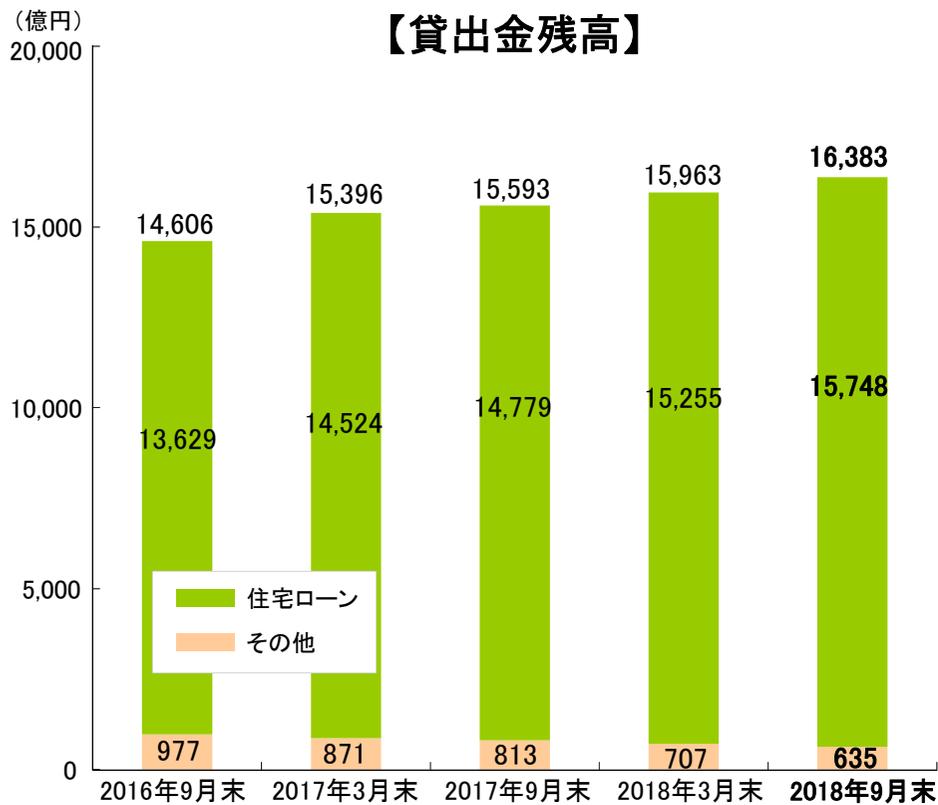


# 貸出金の状況

<単体>

- 貸出金は提携住宅ローンなどによる新規融資の増加により、前年度末比419億円増加の1兆6,383億円。
- 預貸率は71.0%。

金額は億円未満切捨て、%は四捨五入で表示

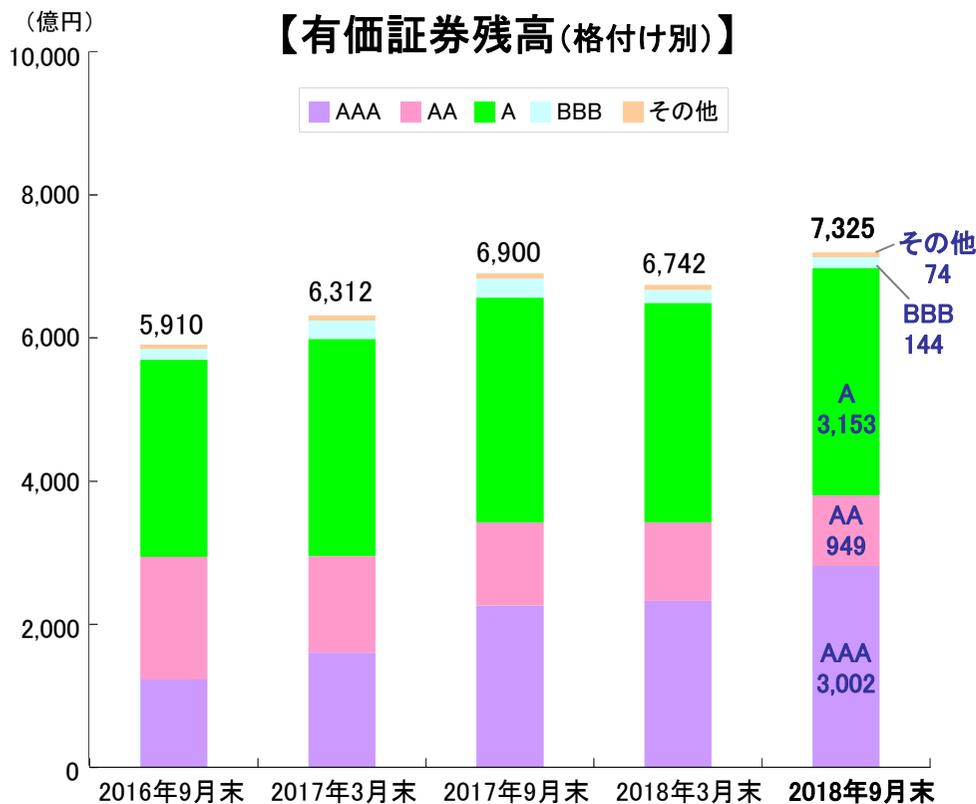


# 有価証券の状況

< 単体 >

- 有価証券は、高格付けの債券で安定的に運用。引き続き、AAA～A格の債券が全体の9割強を占める。残高は前年度末比582億円増加の7,325億円。
- その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)は64億円。

金額は億円未満切捨てで表示



【その他有価証券の内訳】

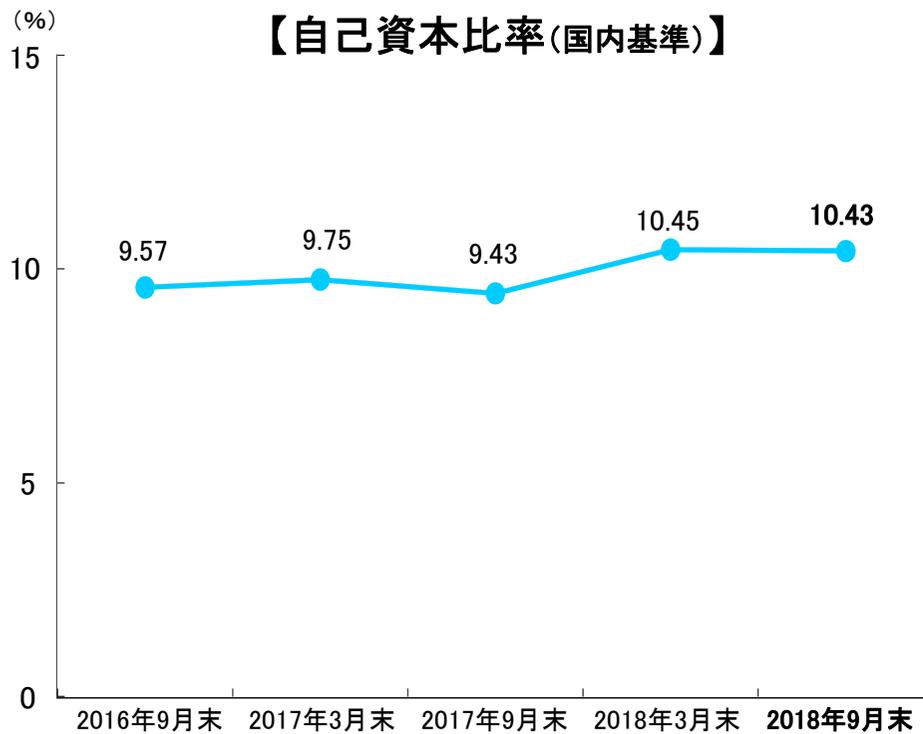
	2018年3月末	2018年9月末
債券	1,980	1,731
国債	968	757
地方債	360	343
社債	651	631
その他	4,793	5,604
外国債券	4,689	5,517
その他の証券	104	86
合計	6,774	7,336
< その他有価証券評価差額金 (税効果会計適用前) >	< 77 >	< 64 >

※時価のあるその他有価証券の貸借対照表計上額内訳  
貸借対照表の「有価証券」のほか、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載

# 自己資本比率・格付け情報

<単体>

● 自己資本比率は10.43%と健全な水準を維持。



【格付け(2018年9月末現在)】

<b>スタンダード&amp;プアーズ</b>	
長期カウンターパーティ格付け「A」	アウトルック「ポジティブ」
短期カウンターパーティ格付け「A-1」	
<b>日本格付研究所</b>	
長期発行体格付「AA-」	見通し「安定的」

※平成18年金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出。

※2017年3月末より、基礎的內部格付手法で算出。

## 2018年4月以降の主なサービス拡充施策 (2018年10月発表分まで)

### ●住宅ローン商品・サービスの充実

- AI(人工知能)を活用した住宅ローン仮審査の自動化を開始 (2018年5月)
- より低い固定金利で住宅ローンを借りたい、とのニーズにお応えし、「固定セレクト住宅ローン」の取り扱い開始 (2018年10月)
- がん保障の特約など、あらたな疾病保障特約付き団体信用生命保険の取り扱い開始 (2018年8月、10月)
- 同性パートナーのかたと住宅ローンをご利用いただけるように LGBTへの新たな取り組みを開始 (2018年4月)

### ●お客さまの多様な資産運用ニーズに対応

- 「Sony Bank WALLET アプリ」をバージョンアップ  
Sony Bank WALLETの利用状況をグラフと数字で確認でき、  
Visaデビットの利用停止・再開設定や利用限度額の変更も  
可能に (2018年5月)
- 円定期と外貨定期を同時申し込むと、円定期で上乗せ金利が  
受け取れる「セット定期プログラム」を開始 (2018年7月)
- 成長分野に着目したインデックスファンド2本と、有望なテーマへ  
投資するアクティブファンド4本追加 (2018年6月)

